

スプレースカートを 作ってみよう。

これから夏にかけて、日本の海でチュイリックを着ていると、熱中症でぶっ倒れること請け合いです。

チュイリックは着ずにスプレースカートを使えば、そんな心配は不要。

では、早速アマゾンに注文して…

いや、それでもよいです。安いものだと数千円から出ておりますし。

でも、せっかくなので自分自身と自分のカヤックにピッタリと合ったスプレースカートを作ってみてはいかがでしょうか？

実は先日、グリーンランド在住のジョン (John Pedersen) から、カヤック用スプレースカート作りの写真を提供していただきました。

本場ではアザラシの皮を使って作っていますが、普通に町で暮らしている我々には、入手困難かと思いますので、キャンバス地、ネオプレン (ウェットスーツの生地)、ナイロンなど、色々工夫してみましよう。

ただし、キャンバス地は濡れるとかなり縮むので、あらかじめよく水に浸け糊を落としておくことをお勧めします (洗剤なしで洗濯機にかけてもよいでしょう)。



これが型紙です。

高さ (型紙両端の直線部) は 35cm。型紙上部が胴回りになるので、自分の胴囲に合わせて調整します。下

部 (凸部がある部分) がコーミングにかかる部分ですので、コーミングの外周とほぼ同じ長さになりますが、縫い代も考えて長さは決定しましょう。

まず、直線部を縫い合わせて、円筒形にします。



縫い方は各自工夫してください。普通の布であればミシンを使うと楽でしょう。布端のほつれ止めも各自工夫してください。

上部、下部共に、紐やゴムが入るよう、折り返す、あるいは他の布を縫い付けて、筒状にします。

ここには直径 5mm 程度のゴム紐を入れてもよいでしょう。



グリーンランドでは、基本的にサスペンダー式だそうです。途中に骨や木でトグルを入れて、肩からずり落ちないようにしています。写真のように前側に穴付きタブを取り付け、その穴にサスペンダーの紐を通して、長さ調整ができるようにしています。

実際に作ってみたら、再度レポートさせていただきます。

文責：高沢進吾